

京都市小学校教科書選定委員会 答申

国語科（書写）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮がされていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮がされていること。
- 4 毛筆学習の成果が硬筆書写に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。
- 5 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮がされていること。
- 6 基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 7 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

国語科（書写）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい書写」

全学年において、「文字といっしょに」で、年賀状、古典作品、手書き文字と活字、文字の歴史などを取り上げるとともに、書き初めや百人一首、漢詩を書く教材を配置するなど、伝統的な言語文化への理解を深められるよう工夫されている。

「見つけよう、たしかめよう、生かそう、ふり返ろう」の4段階の問題解決的な学習で構成されているほか、適所に掲載されている「生活に広げよう」や「学びを生かそう」には、習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。

「見つけよう」から「ふり返ろう」までの4段階の学習活動の中で、対話を通して課題を発見できるよう配慮されているほか、「書写のかぎ」に掲載された重要なポイントについて考えを深めるような問いが目次や教材ページ内で提示されており、主体的・対話的な学習を進められるよう工夫されている。

毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも書いて確認できるよう同じページ内に「生かそう」が掲載されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。

全学年で他教科との関連教材「生活に広げよう」を掲載し、原稿用紙、縦書きや横書きのノート、インタビューメモなどを取り上げて、書写で学習したことを教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるよう工夫されているほか、4～6年生では裏見返しに「文字にこめた思い」を設け、被災地への応援メッセージや障害のある方が書いた作品の展覧会などを紹介し、現代的な教育諸課題との関連を図れるよう工夫されている。

■教育出版「小学書写」

全学年において、「知りたい 文字のせかい」で、文字の成り立ちや歴史、手書き文字と活字、筆や墨の作り方などを取り上げるとともに、書き初め、暑中見舞い、俳句や短歌等を書く教材を配置するなど、伝統的な言語文化への興味・関心を高められるよう工夫されている。

「つかむ・考える、確かめる、ふり返る、生かす・広げる」の4段階の問題解決的な学習で構成されているほか、適所に掲載されている「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」には、習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。

「つかむ・考える」から「生かす・広げる」までの4段階の学習活動における課題発見や話し合い活動、振り返りの視点を児童が理解しやすいよう、目次や教材ページ内で文、写真、セリフを使って丁寧に提示されている。また、選択コースを設け、自分のめあてを基に主体的に学習に取り組めるよう工夫しているほか、「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」の中で友達と話し合いながら課題を解決する教材が設定されており、主体的・対話的な学習が展開できるよう、よく工夫さ

れている。

毛筆学習の前後に、同じ文字を硬筆で書く「ためし書き・まとめ書き」の記入欄が隣接ページ内に掲載されており、児童自身が学習前後の変容を確認できるとともに、毛筆と硬筆の関連が図られるようになっており、優れている。

全学年で他教科との関連教材「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」を掲載し、原稿用紙、パンフレット、縦書きや横書きのノート、見学メモ、学級新聞などを取り上げて、書写で学習したことを教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるよう工夫されているほか、高学年においては、SDGsに関連した言葉を自分で選んで書く教材を配置し、実際の学習活動を通して現代的な教育諸課題を意識化できるようになっており、優れている。

■光村図書出版「書写」

「もっと知りたい」で、手書き文字と活字、文字の歴史、筆や墨の作り方などを取り上げるとともに、書き初め、俳句や古典文学等を書く教材を配置するなど、伝統的な言語文化への興味・関心を高められるよう工夫されている。

「考えよう、確かめよう、生かそう」の3段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、他教科での学習が適所に設定されているほか、各学年の巻末にある「資料」や6年生の中綴じ資料「書写ブック」には、習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。

「考えよう」から「生かそう」までの3段階の学習活動における課題発見や話し合い活動の視点を児童が理解しやすいよう、目次で写真やセリフを使って提示されているが、教材ページ内においては、課題発見や話し合い活動を促す問いや視点が示されておらず、「たいせつ」で確かめたことを自分で書き込むことにとどまっており、主体的・対話的な学習を展開するための工夫が弱い。

毛筆学習で書いた文字を硬筆のなぞり書きで確認することができるよう同じページ内に「生かそう」が掲載されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。

全学年で他教科との関連教材「書写広げたい」を掲載し、原稿用紙、パンフレット、縦書きや横書きのノートなどを取り上げるとともに、6年生においては、書写の要素を学習場面や日常生活で生かすための「書写ブック」を付録したりし、教科横断的な学習が充実するよう工夫されているほか、3～6年生では裏表紙に「SDGs×書写」コーナーを設け、現代的な教育諸課題との関連を図れるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

国語科(書写)

観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の観点		選定の視点		東京書籍	教育出版	光村図書
1	基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	毛筆の基礎学習の工夫	○	○	○
		2	単元のめあての明確化	○	◎	○
		3	伝統的な言語文化との関連	○	○	○
2	習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。	1	問題解決的な学習における言語活動の展開	○	○	○
3	児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	1	探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	○	◎	△
		2	発展的な学習活動を促すための工夫	○	○	○
		3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○	○
4	毛筆学習の成果が硬筆書写に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。	1	毛筆と硬筆の関連	○	◎	○
		2	基本点画のわかりやすさ	○	○	△
5	単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1	単元構成の系統性・発展性	◎	○	○
		2	他教科や教育課題等との関連	○	◎	○
		3	他校種との接続	○	○	○
		4	家庭・地域との連携	○	○	◎
6	基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1	人権教育の推進	○	○	○
		2	道德教育の推進	○	○	○
7	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	○	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○

【国語（書写）】観点別資料

【選定の観点１】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行者名		
２ 東京書籍	１７ 教育出版	３８ 光村図書
○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○文字を正しく整えて書くために必要な知識・技能として、学年を横断した「書写のかぎ」が示されており、文字を書くうえで大切なことを意識して活動に取り組めるよう工夫されている。 ○全学年において、「文字といっしょに」で、年賀状、古典作品、手書き文字と活字、文字の歴史などを取り上げるとともに、書き初めや百人一首、漢詩を書く教材を配置するなど、伝統的な言語文化への理解を深められるよう工夫されている。	○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○学習のめあてが明示されているほか、各教材に課題発見を促す「考えよう」や、文字を書くうえで気を付けることを学習前に確認する「ここが大切」が設定されており、児童が学習のめあてを意識しながら学習に取り組めるようになっており、優れている。 ○全学年において、「知りたい 文字のせかい」で、文字の成り立ちや歴史、手書き文字と活字、筆や墨の作り方などを取り上げるとともに、書き初め、暑中見舞い、俳句や短歌等を書く教材を配置するなど、伝統的な言語文化への興味・関心を高められるよう工夫されている。	○イラストや写真を付して、書く姿勢、筆や鉛筆の持ち方、用具の扱い方が掲載されており、加えて３年生では、巻頭に「毛筆スタートブック」を設け、分かりやすく円滑に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○学習のねらいが明示されているほか、各教材でのポイントを端的に示した「たいせつ」が設定され、児童が自分のめあてを持ち、文字を書くうえで大切なことを意識して活動に取り組めるよう工夫されている。 ○「もっと知りたい」で、手書き文字と活字、文字の歴史、筆や墨の作り方などを取り上げるとともに、書き初め、俳句や古典文学等を書く教材を配置するなど、伝統的な言語文化への興味・関心を高められるよう工夫されている。

【選定の観点２】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

発行者名		
２ 東京書籍	１７ 教育出版	３８ 光村図書
○各教材が「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」の４段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、適所に掲載されている「生活に広げよう」や「学びを生かそう」には、習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。	○各教材が「つかむ・考える」「確かめる」「ふり返る」「生かす・広げる」の４段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、適所に掲載されている「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」には、習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。	○各教材が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の３段階の問題解決的な学習で構成されるとともに、他教科での学習が適所に設定されているほか、各学年の巻末にある「資料」や６年生の中綴じ資料「書写ブック」には、習得した知識・技能を他の学習や日常生活に生かす言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名		
2 東京書籍	1 7 教育出版	3 8 光村図書
○「見つけよう」から「ふり返ろう」までの4段階の学習活動の中で、対話を通して課題を発見するほか、「書写のかぎ」に掲載された重要なポイントについて考えを深めるような問いが目次や教材ページ内で提示されており、主体的・対話的な学習を進められるよう工夫されている。 ○「学びを生かそう」「文字といっしょに」「生活に広げよう」では、これまでに学習したことを「書写のかぎ」を基に振り返り、自分のめあてを持って手紙（カード）や寄せ書きを書いたり、書き初めに取り組んだりする発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ○「字形シミュレーション」や運筆動画から、筆の動きや書くときのポイントをイメージし、児童自身が必要に応じて確認しながら学習を進めることができるよう工夫されている。	○「つかむ・考える」から「生かす・広げる」までの4段階の学習活動における課題発見や話し合い活動、振り返りの視点を児童が理解しやすいよう、目次や教材ページ内で文、写真、セリフを使って丁寧に提示されている。また、選択コースを設け、自分のめあてを基に主体的に学習に取り組めるよう工夫されているほか、「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」の中で友達と話し合いながら課題を解決する教材が設定されており、主体的・対話的な学習が展開できるようになっており、優れている。 ○「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」では、これまでに学習した内容から自ら課題を見つけて取り組む展開を掲載するとともに、「知りたい 文字の世界」では、象形文字や変体仮名などを紹介しており、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ○「まなびリンク」の毛筆や硬筆、水書の運筆動画などから、筆の動きや書くときのポイントを、児童自身が必要に応じて確認しながら学習を進めることができるよう工夫されている。	○「考えよう」から「生かそう」までの3段階の学習活動における課題発見や話し合い活動の視点を児童が理解しやすいよう、目次で写真やセリフを使って提示されているが、教材ページ内においては、課題発見や話し合い活動を促す問いや視点が示されておらず、「たいせつ」で確かめたことを自分で書き込むことにとどまっており、主体的・対話的な学習を展開するための工夫が弱い。 ○「書写広げたい」で、他の学習での言語活動を事例として提示し、自分のめあてを持って手紙やリーフレットを書く学習を取り上げているほか、「○年生のまとめ」では、1年間の学習を振り返り、自ら課題を見つけて取り組む学習を掲載するなど、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ○アニメーションや運筆動画から、筆の動きや書くときのポイントを、児童自身が必要に応じて確認しながら学習を進めることができるよう工夫されている。

【選定の観点4】

毛筆学習の成果が硬筆書写に生かされるように、教材内容や構成が工夫されていること。

発行者名		
2 東京書籍	1 7 教育出版	3 8 光村図書
○毛筆学習で学んだ書き方のポイントを他の文字でも書いて確認できるよう同じページ内に「生かそう」が掲載されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。 ○毛筆学習において、点画を書く時の動きを擬音語とイラストを用いながら示しており、児童の理解につながるよう工夫されている。	○毛筆学習の前後に、同じ文字を硬筆で書く「ためし書き・まとめ書き」の記入欄が隣接ページ内に掲載されており、児童自身が学習前後の変容を確認できるとともに、毛筆と硬筆の関連が図られるようになっており、優れている。 ○毛筆学習において、点画を書く時の動きを擬音語とイラストを用いながら示しており、児童の理解につながるよう工夫されている。	○毛筆学習で書いた文字を硬筆のなぞり書きで確認することができるように同じページ内に「生かそう」が掲載されており、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。 ○毛筆学習において、イラストを用いながら点画を書く時の動きを示しているが、数字の情報が多く、穂先の向きを表すイラストが筆文字に重ねて示されておらず、児童の理解につながるための工夫が弱い。

【選定の観点5】

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名		
2 東京書籍	1 7 教育出版	3 8 光村図書
○書写に関する事項を全学年共通の色で分かるように分類・整理し、目次や単元名で端的に示すとともに、3～6年生では表見返しのインデックスに示されているほか、各学年の巻末にこれまでに学習した「書写のかぎ」をまとめて示すことで、児童自身が書写の系統性を意識して学習できるようになっており、優れている。 ○全学年で他教科との関連教材「生活に広げよう」を掲載し、原稿用紙、縦書きや横書きのノート、インタビューメモなどを取り上げて、書写で学習したことを教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるよう工夫されているほか、4～6年生では裏見返しに「文字にこめた思い」を設け、被災地への応援メッセージや障害のある方が書いた作品の展覧会などを紹介し、現代的な教育諸課題との関連を図れるよう工夫されている。 ○6年生では、中学校で学習する行書を紹介しており、他校種との接続に配慮されている。 ○3年生では、祖父宛てに書いた手紙（はがき）の例が示されており、家庭・地域との連携を促すよう工夫されている。	○巻頭に目次とともに各学年で学習する内容が示されており、1年間の学びを見通すことができるよう工夫されている。 ○全学年で他教科との関連教材「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」を掲載し、原稿用紙、パンフレット、縦書きや横書きのノート、見学メモ、学級新聞などを取り上げて、書写で学習したことを教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるよう工夫されているほか、高学年においては、SDGsに関連した言葉を自分で選んで書く教材を配置し、実際の学習活動を通して現代的な教育諸課題を意識化できるようになっており、優れている。 ○6年生の「はってん」では、中学校で学習する行書を紹介しており、他校種との接続に配慮されている。 ○4年生では、祖父母への手紙を書く活動が設定されているほか、5年生では、地球環境のために自分たちができることをポスターに書く活動が設定されており、家庭・地域との連携を促すよう工夫されている。	○巻頭に目次とともに当該学年のめあてを示し、さらに全学年の巻末に6年間の書写の系統性が分かる表を掲載しており、系統的に見通しをもって学習することができるよう工夫されている。 ○全学年で他教科との関連教材「書写広げたい」を掲載し、原稿用紙、パンフレット、縦書きや横書きのノートなどを取り上げるとともに、6年生においては、書写の要素を学習場面や日常生活で生かすための「書写ブック」を付録したりし、教科横断的な学習が充実するよう工夫されているとともに、3～6年生では裏表紙に「SDGs×書写」コーナーを設け、現代的な教育諸課題との関連を図れるよう工夫されている。 ○6年生の「発展」では、中学校で学習する行書を紹介しており、他校種との接続に配慮されている。 ○4年生では、町の防災マップを作って地域で発表する活動が設定されているほか、1年生の最初のページに保護者が児童への応援メッセージを書く欄を設けるなど、家庭との連携を図るようになっており、優れている。

【選定の観点6】

基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行者名		
2 東京書籍	1 7 教育出版	3 8 光村図書
○手紙やカード、寄せ書きなど、他者を思いやる内容を考えて書く教材が取り上げられており、人権教育や道德教育の視点に配慮されている。 ○「明るい心」「友」「平和」「強い決意」「希望」「夢を語ろう」といった、友情や向上心など道德性の育成につながる文字が教材文字として示されている。	○友達の良いところや感謝の気持ちを伝えるカード、お礼状、寄せ書きなど、他者を思いやる内容を考えて書く教材が取り上げられており、人権教育や道德教育の視点に配慮されている。 ○「友だち」「平和」「世界の国」「思いやり」といった、友情、信頼、国際親善など道德性の育成につながる文字が教材文字として示されている。	○手紙や寄せ書きなど、他者を思いやる内容を考えて書く教材が取り上げられている学年があり、人権教育や道德教育の視点に配慮されている。 ○「友だち」「明るい心」「希望」「平和な国」「友情」「感謝」といった、友情、感謝、希望と勇気など道德性の育成につながる文字が教材文字として示されている。

【選定の観点7】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名		
2 東京書籍	1 7 教育出版	3 8 光村図書
○B 5 版で、字間や行間も適切で読みやすく、配色やレイアウトも工夫されている。 ○「書写のかぎ」など大事なポイントにはUDフォントが採用されており、さらに配色やデザインについては、特別支援教育の専門家による校閲を行い全ての児童の色覚特性に配慮されている。 ○造本は堅牢で、表紙には耐久性を高める加工が施されているほか、針金綴じで製本されており、適切な造りである。 ○再生紙や植物油インキを使用し、「グリーンプリンティング認定工場」で印刷するなど環境にも配慮されている。	○B 5 版で、字間や行間も適切で読みやすく、配色やレイアウトも工夫されている。 ○UDフォントやCUDが採用されており、特別支援教育の専門家による監修の下で色覚等の特性を踏まえた判読しやすい配色がされ、全ての児童の色覚特性に配慮されている。 ○造本は堅牢で、表紙には水や墨汚れに強い撥水コーティング加工が施されており、適切な造りである。 ○再生紙や植物油インキを使用し、環境にも配慮されている。	○B 5 版で、字間や行間も適切で読みやすく、配色も工夫されている。 ○UDフォントやCUDが採用されており、CUDの専門家による校閲を行い、混同しやすい配色を避けたり形や文字と合わせて判断できるようにしたりするなど、色覚の多様性に配慮されている。 ○造本は堅牢で、薄い紙を使用しており、適切な造りである。 ○原料や製法など環境に配慮した紙や植物油インキを使用し、環境にも配慮されている。

※UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント、CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン